

九州初!

タイムラインを用いた実践的な演習

～平成27年度六角川・嘉瀬川・松浦川総合水防演習～

武雄河川事務所
最近の話題

さる5月17日(日)に平成27年度六角川・嘉瀬川・松浦川総合水防演習を開催しました。

演習は、国・県・自治体の他、自衛隊、警察、消防、水防団、九州防災エキスパート会、地域住民など43機関約2,000名(一般見学者含む)の参加の中、**防災関係機関の連携・協力体制の確立及び地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的として実施しました。**

今回の演習は、台風発生(7日前)から台風最接近(ゼロアワー)までの7日間を、小城市の協力を得て昨年度策定した「**タイムライン(事前行動計画)**」に基づき、防災に関わる組織が連携し、それぞれの役割で訓練を実施しました。

また、平成25年の水防法の改正を受けて、介護老人保健施設コスモス、コトブキ製紙株式会社等の協力による、事前水防訓練の状況を大型スクリーンに上映し、水防協力団体として地元の佐賀農業高等学校と高志館高校の生徒のみなさんにも、土のうづくり、土のうづみの体験をしてもらいました。

今回の演習での経験を実践でも役立てましょう!!

－開会風景－



開会宣言をされる
副総裁 森川河川部長



開会挨拶をされる
うえの国交大臣政務官



統裁
佐賀県 山口知事



災害対策本部長
小城市 江里口市長



全国水防管理団体連合会
陣内会長

－演習風景－



警察、消防等による救出・救護訓練



地元住民団体による避難訓練



水防団、水防協力団体等による各種工法訓練の実施、また地元高校生も土のうづくりに参加



赤十字奉仕団(小城市婦人部)による非常時炊き出し訓練



訓練の解説は、九州防災エキスパート会等が実施



会場前方には、大型スクリーンを設置し、事象の説明等



海域塵芥回収訓練(リアルタイム上映)、自衛隊の派遣要請、道路通行止の想定など、総合水防演習として、複合的な訓練を実施



視察するうえの国土交通大臣政務官

— 展示ブース —



大学生も参加した各種展示ブースは、小さいお子さんからも大好評でした

— 閉会風景 —



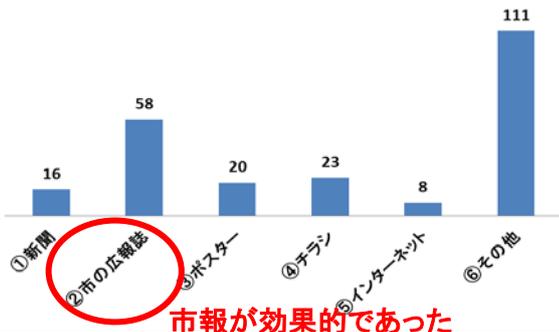
総裁 金尾九州地方整備局長による講評



参加者のみなさん、お疲れ様でした
武雄河川事務所 職員一同

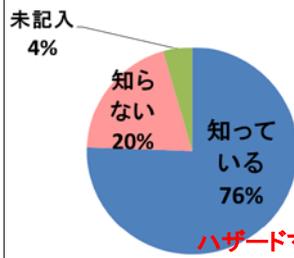
－アンケート分析結果－ 当日アンケート調査を実施し、その結果を分析しました

1, 今回の総合水防演習を何で知りましたか？



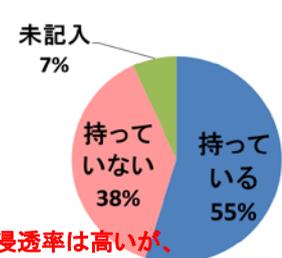
市報が効果的であった

2, ハザードマップなど防災情報の入った地図を知っていますか？

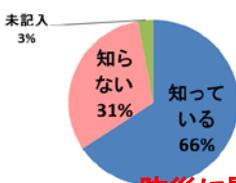


ハザードマップの浸透率は高いが、所有率については一部不足

2, ハザードマップなどの防災情報の入った地図を持っていますか？

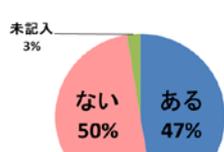


3, 災害時の避難場所や避難経路を知っていますか？

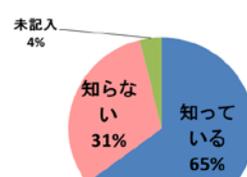


防災に関する地域の取り組みは意識が高まりつつある状況

4, 地域の集まりや催し等で近所の方々と防災について話合ったことはありますか？



5, 自主防災組織を知っていますか？



〔来場者の状況〕

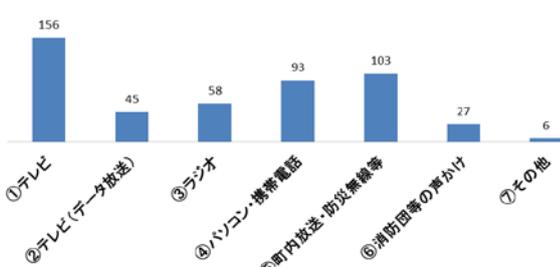
男女比 男6:女4

年齢 約半数が61才以上

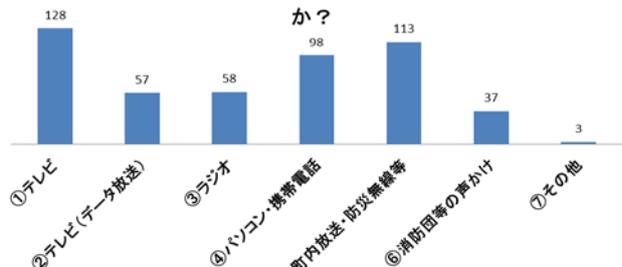
その他年齢がほぼ均衡

住所 約半数が地元、1割程度県外からの参加

6, 災害時の情報は、どのように入手していますか？



7, 今後どのような方法で情報を入手したいとおもいますか？



災害時情報は、テレビ等からの入手が圧倒的に高い模様、町内放送・防災無線への今後の期待感もあり

【その他意見】

□好意的な意見

- ・本演習のため、水防団が事前に訓練されるのが、実際のとき力になると思う。
- ・タイムラインによる演習を初めて見て、とても勉強になりました。自分にできる事(自主防災)をやっていけないといけない事を知りました。
- ・災害時のためには大がかりな演習をしなければ、本当の災害時には対応できないと痛感。
- ・私達の税金で多くの機器を準備されている事に感心しました。これからもよろしくお願いします。

□次回開催時に改善を要する意見

- ・土のう作りは中学生も参加させてほしい。災害時では彼等は強力な作業戦力でもある。
- ・一般の方(市民)がもっと体験できるような訓練になれば、今以上の効果が期待できるのでは。